

体力向上の取組み

オリパラを機に更に推進

小学生は全国平均上回る

東京都の体力の現状について

東京都の児童・生徒の体力・運動能力が全国平均値を全般的に下回って...

その結果、近年、東京都の子どもの体力は、課題があるため、現在、向上傾向を示しており...

アクティブライフ研究実践校・スポーツアカティブスクール...

プハイスクールに指定し、今年度は指定校の取り組みを報告書にまとめ、全高等学校及び中等教育学校(後期課程)に普及・啓発し、高校生の体力の底上げを図っていく。



本園は荒川区の東部沙入地区に位置し、近隣には都立入公園があり、幼児が体を動かして遊ぶ場所が充実した地域である。

心と体を弾ませて遊ぶ幼児に

荒川区立南千住第二幼稚園長 立石 晃子

11月の2回、運動能力測定の結果、気持の切り替えが早くなるなど、様々な幼児の姿を感ずることができた。

効果検証 COIT実践と 18年度は、夏季保育における「親子でCOIT



心も体も弾む「コティン」



今後の取組み 今後も、COITを継続するに当たり、教育計画では腕を大きく動かすなど、ボール投げや立ち幅跳びへの位置付けや日課の保育に取り入れるなどの工夫を行う。教員が継続的にCOITの研修会に参加することで、指導力の向上を図るとともに、COITで高まった運動能力や動きの感受性を基盤として、幼児自身が工夫しながら体を動かす遊びを目標とするなどして、更なる運動能力の向上につなげる。

2011年度(東京都統一体力テスト開始時)と18年度との比較

